

屋外木部

木製戸袋



雨戸・破風・
羽目板
板べい・
濡れ縁等



美しい光沢の
つやありタイプ

水性



オールマイティーネオ



落ち着いた
3分ツヤタイプ

水性



フリーコート

屋外木部の塗装は、水性で塗りやすく
紫外線にも強い水性多用途塗料がおすすめです

スケジュールを決めましょう

戸袋<中板2.3m×1.2m・外枠2.3m×0.2m×2面>の場合

工程	使用材料	塗布量(ℓ/㎡)	塗り重ね可能時間(夏期)	理想の人数と時間
清掃	—	—	—	1人 10分
サンディング	サンドペーパー	#180~#240(削る) #240~#320(整える)	—	1人 30分
マスキング	マスキングテープ	—	—	1人 10分
上塗り1回	オールマイティーネオ	0.12	2時間以上	1人 30分
上塗り2回	オールマイティーネオ	0.12	—	1人 30分

作業人数の目安 **1人**

作業人数の目安とは
その作業の難易度、作業性に相当する理想的な人数の目安です。例えば2人で行う作業を3人で行った場合、より効率的に進められるといえます。

<オールマイティーネオ>の標準塗り面積 (1回塗りの場合)

容量	㎡	タタミ(枚)
84ml	約0.8	約0.5
200ml	約2	約1.3
0.7L	5~7	約4
1.6L	10~15	約8
3L	19~28	約14
7L	50~70	35~45
14L	100~140	70~90

<フリーコート>の標準塗り面積 (1回塗りの場合)

容量	㎡	タタミ(枚)
200ml	約2	約1.3
0.7L	5~7	約4
1.6L	10~15	約8
3L	19~28	約14
7L	50~70	約40
14L	100~140	約80

<塗料と養生用品の必要量> オールマイティーネオは木部に塗る場合、通常1回塗りですが、さらにきれいな仕上がりを目指すには2回塗り仕上げをおすすめします

オールマイティーネオで、
<中板2.3m×1.2m・外枠2.3m×0.2m×2面>の戸袋を2回塗り塗る場合

塗装面積
約3.7㎡

- オールマイティーネオ 中板部分:オールマイティーネオ 1.6L・1缶/マロンブラウン
- 外枠部分:オールマイティーネオ 0.7L・1缶/チョコレート



- マスキングテープ 18m巻:1巻

※木部は塗る素材の状況にもよりますが、吸い込み(浸透)しやすいので余分に準備しておいた方が良いでしょう。

使用する道具

買い忘れがないかチェックを! 塗装用具は作業する人数分用意しましょう。作業効率もあがります

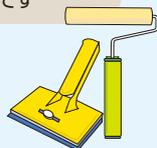
塗装用具

木部着色剤用か
万能用をお選び
ください



- ハケ(本)

広い面が効率的に
塗れ、仕上がりも
きれいです



- ローラー・コテバケ



ローラーバケを
使用する場合は
塗り皿やバケツ
が必要です

- ローラーバケツ塗り皿(個)

- かくはん棒



養生

塗料のはみ出しを防ぐ
ために使います。



- マスキングテープ ()巻き

マスキングテープとポリシートが一体となっており広範囲を保護できます



- マスキングテープ ()巻き



[新聞紙]

- ポリシート (枚)

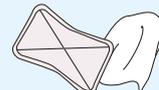
清掃・サンディング

表面を滑らかにし、浸透性を高める目的で使います

表面が平らな面をサンドペーパーがけする場合はサンディングブロックが便利です



- サンドペーパー (枚)



- 雑巾・ウエス



- 皮スキ
- ワイヤブラシ



- 手袋(双)

汚れてもよい服装で作業をしましょう



*手袋の着用も忘れずに..



塗装は気温の低い日避け、好天の日に行ってください。

雨の日(雨が降りそうな時)や気温5℃以下、湿度85%以上の時の塗装は避けてください。

1 下地処理 まずは表面の状態を確かめましょう!

●汚れの除去...



泥や苔、藻による汚れやチョーキング*により粉っぽくなった表面は、タワシやデッキブラシ等で落としよく水洗いをしてください。目地の汚れは取りにくいので予めタスターバケで払い落としておくといでしょう。洗浄は表面の粉っぽさがなくなったらOKです。水洗い後は充分に乾燥させてください。

* <チョーキングとは?>



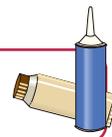
*塗膜の表面が風化して粉っぽくなっている状態を指します。表面を手でこすった時に粉が付くかどうか確認してください。

●古い塗膜が傷んで浮き上がっている場合の対処...



古い塗膜がはがれていたり、浮き上がっている場合はワイヤーブラシや皮スキで削り落とし、最後にサンドペーパー(#240程度)をかけて、出来る限り取り除いてください。しっかり密着している箇所は取り除く必要はありません。古い塗膜をはがすとまわりが汚れますので、予め床にビニルシートを敷いて作業すると後片付けが楽に行えます。

シーリング材もパテも塗料の上塗り可能なものを選んでください



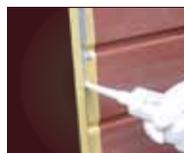
●油分がある場合の対処...



塗る面に油分がある場合は、ペイントうすめ液を含ませた布でよく拭き取ってください。



●隙間やヒビ割れがある場合の対処...



はみ出さないようにマスキングテープをまわりに貼り、シーリング材を充填した後、余分なシーリング材をヘラなどでそぎ落とします。塗装前に充分、乾燥させてください。



ヒビ割れやくぼみはパテで埋めましょう。埋めたらヘラで盛り上がっている余分なパテでを削ぎ落としましょう。乾燥後、#240程度のサンドペーパーをかけて平滑にならしましょう。

はみ出しや汚れを防ぐ為の処理

2 マスキング(養生)

塗りたくない部分や塗料が付着すると困る部分には必ずマスキングテープを貼ってください。マスキングテープを貼る時は、きわの部分をしっかり押えてください。床面には、ビニルシートや新聞紙等を敷き保護すると塗装時の汚れが防げます。

戸袋の枠と中の色を変える場合はその都度境目にマスキングテープを貼ってください。



便利な用具: マスカー

*マスキングテープとビニルシートが一体になっており、貼ったあとに折り畳んであるシートを広げられ広範囲の保護が可能。



枠(外側)を塗る時は、内側にマスキングテープを貼って保護しましょう。



中(内側)を塗る時は、外側にマスキングテープを貼って保護しましょう。

3 塗料をかき混ぜる

●塗料は中身をよくかき混ぜてからご使用ください

塗料は様々な原料から成る混合物のため、一部の色の粉が沈んでいることがあります。容器を振らないでフタを開けたとき、色が違うように見えるのはこれが原因です。

大切なのは、中身をよく混ぜることです。

フタを開ける前に容器を逆さにして振り、フタに手をそえてマイナスドライバー等で開け、底にドロツとした固まりがなくなるまでヘラなどで充分にかき混ぜてください。



■粘度が高く、塗りにくい時は水でうすめましょう!

<オールマイティーネオ、フリーコート>

はうすめなくても塗れる仕様になっていますが、塗りにくい時は水を加えてよくかき混ぜてください。

[うすめる目安]

- ・塗料0.7Lに対し、水35ml以下
- ・塗料1.6Lに対し、水80ml以下



■塗装をいったん中断する時は...

塗装の途中で休憩や食事をとる場合は、ハケや塗り皿が乾かないようにビニル袋に入れて密封したり、ラップを巻いて外気に触れないようにしましょう。ちょっとした時間ならこれで大丈夫です。



4 塗る

外枠を塗る



①まずは狭い箇所から塗りましょう

このように幅の狭い箇所は小さめのハケ(毛先の幅が30mm程度)を使い、ハケを立てて上から下へと塗りましょう。



②次に側面を塗りましょう

比較的幅の広い側面は、大きめのハケ(毛先の幅が70mm程度)を使うと効率的に塗れます。ハケを斜めに立てて上、下とハケを返しながら、ならすようにして仕上げてください。



■タレってしまった場合の対処



ハケに塗料を含ませすぎるとタレてしまいます。



タレってしまった場合はすぐにその箇所をハケでならしてください。そのままにしておくと跡になってしまいます。



*タレや厚塗りを防ぐためには容器や塗り皿のフチでよくしごき余分な塗料を落としてください。



*塗り皿にビニル袋をかぶせて使用すると後片付けが楽になります。

中板を塗る



①まずは隅や目地から塗りましょう

[枠の内側・接合部分]

先に隅(枠の内側や接合部分)を先に小さめのハケで塗っておきましょう。



[板面の目地]

同じく全体を塗る前に予め目地を塗ってください。横向きの目地は、ハケを寝かして目地の中にハケの先端を入れるようにして塗っていきましょう。



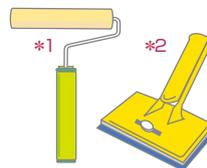
②表面を塗り、仕上げましょう

この程度の面積であれば、スジカイバケで塗っても充分仕上げられますが、よりスピーディーにまた、きれいに仕上げるにはローラーバケ*1 やコテバケ*2 が便利です。



ローラーバケは木板に沿って横にゆっくり転がして塗っていきます。コテバケは均等に力を入れてならすように仕上げてください。

どちらを使えばいいの?



今回のように平滑の面は、どちらでもキレイに仕上がります。塗る面に凹凸がある場合は、ローラーバケの方が適しています。コテバケは比較的軽く扱いやすいので女性におすすです。

1回塗りでも充分きれいに仕上がりますが...

さらにきれいな仕上がりを目指すには2回塗り仕上げをおすすめします

「オールマイティーネオ」は通常1回塗りですが、初めて塗る方や慣れていない方は塗りムラ(厚い・うすい)が出てしまうことがあります。今回は、もともとあった塗膜が部分的にはがれており、吸い込みムラによるつやムラが予想されたので当初より2回塗りで塗装を計画しました。

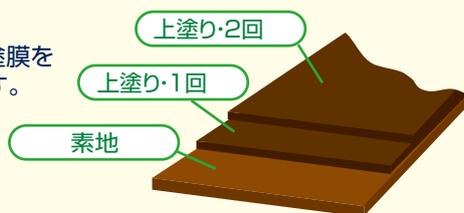
2回塗り仕上げをおすすめする理由

1.仕上りがより美しくなる

塗料は、1回で厚く仕上げるよりもうすく塗り重ねた方が均一に塗れ、塗りムラが出にくく美しく仕上がります。またタレなども防ぎやすくなります。

2.耐久性が向上する

2回塗りで仕上げた方が均一な塗膜を形成するので耐久性も上がります。



2回塗りをする場合は手間も時間も掛かります。でも苦労した分満足できる仕上りが望めます。



1回目と2回目の間隔は十分に

〈オールマイティーネオの場合〉



夏期:4時間以上
冬期:6時間以上

●塗装間隔は製品の表示にある乾燥時間とは異なります

1度に2回塗り重ねることが「2回塗り」ではありません。1回目の塗装が終わって充分乾燥させてから2回目を塗ることを「2回塗り」といいます。

⑤ あとしまつ

●マスキングテープは、乾く前にはがしてください

乾燥した後ではがすと、マスキングテープと一緒に塗膜がめくれてしまう恐れがあります。塗膜がめくれてしまいそうな時は、**境目に軽くカッターナイフで切れ目を入れてから**はがしてください。床面に敷いた新聞紙等は汚れている面を内側にして丸めて捨てると周りを汚さずに処理できます。



汚れないように
気を付けながら
行いましょう



2回塗りの場合は
2回目の塗装の後に
マスキングテープを
はがします。(最終塗装
が終了したらマスキ
ングテープをはがします)



●用具の手入れは水で行ってください

ハケは、含んでいる塗料を新聞紙等で拭き取った後、乾く前に水洗いをしてください。洗い終わったら充分に水気を切り、陰干ししてください。塗り皿も同様に新聞紙等で拭き取り、水洗いをしてください。用具の手入れは乾燥する前に行ってください。乾燥するとハケの毛が固まって使用できなくなってしまうのですぐに洗わない場合は水に浸けておきましょう。



*塗装用具を洗浄する
際はゴム手袋をしま
しょう。

■完成(イメージ)



塗装前



塗装後

アトムサポート株式会社

本社 〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6
URL <http://www.atom-paint.co.jp>

お客様相談室

TEL 03-3969-7866

ホームページ
はこちらから